Central Weekly Market Report

2026/11/6
セントラル短資株式会社　総合企画部

今週（11月2日から11月6日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが堅調で、出合いの水準は1.22%台で推移した。加重平均レートは週を通して1.227～1.229%となり、市場残高は3兆円台前半と先週同様の水準にとどまった。

ターム物は、ショートターム物を中心に1.22%台後半から1.40%程度とおおむね前週並みの水準で出合いが見られた。ロングターム物は前週に引き続きビッド水準を引き上げる動きが見られた。

日銀当座預金残高は、週初2日に416兆円でスタートした後、4日には財政資金の揚げなどから414兆円まで減少した。5日は普通交付税の支払いにより416兆円へ増加したものの、本日は国債発行が予定されていることから413兆円程度での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、1.255%前後で推移した。
SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン堅調に推移した。
6日に実施された3M物入札では、強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーでは強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、石油・石炭製品や鉄鋼、建設業などの業態で大型発行が行われた。
市場残高は、週初25兆円程度からスタートし、週後半には25兆円台半ばまで積みあがった。
発行レートは、引き続き1.25%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価（円）	新発10年国債利回り（%）	為替（ドル/円 中心相場）	無担保コールO/N（加重平均・%）	東京レポレート（T+1 ON・%）	日銀当座預金残高（億円）
11/2 (月)	63,081.86	2.770	157.80	1.227	1.250	4,167,900
11/3 (火)						
11/4 (水)	62,188.63	2.810	158.55	1.228	1.250	4,144,800
11/5 (木)	61,077.90	2.755	157.90	1.227	1.250	4,158,600
11/6 (金)	57,434.77	2.635	157.69	1.229	1.250	4,128,200

翌週（11月9日から11月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー　（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
11/9 (月)	*10月のオペレーション(日銀 8:50) *10月の日本銀行の対政府取引(日銀 8:50) *10月のマネタリーベースと取引(日銀 8:50) *9月の消費活動指数(日銀 14:00頃) *10月のコール市場残高(日銀 15:00) *9月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB6M物 11/10発行 30,000億円	
11/10 (火)	*決定会合における主な意見(日銀 8:50) *9月の国際収支(日銀 8:50) *10月の貸出・預金動向(日銀 8:50) *9月の全世帯家計調査(総務省 8:30) *10月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	30Y物　エネルギー借入 11/11発行　11/20借入 6,000億円　6,505億円	*10月の米消費者物価指数
11/11 (水)	*10月のマネーストック(日銀 8:50)		*New York祝日(Veterans Day)
11/12 (木)	*10月の企業物価指数(日銀 8:50) *浅田審議委員挨拶(長崎懇談会 10:30) *10月のフェイルの発生状況(日銀 16:30)	5Y物　国有林野借入 11/13発行　11/25借入 25,000億円　651億円	*7-9月期の英GDP速報値
11/13 (金)		TDB3M物 11/16発行 31,000億円	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/9 (月) 日銀予想	300	7,500	7,800	社債等買入 国債補完供給	▲ 100 1,000		900	8,700	TDB3M発行▲31,000 償還37,000
11/10 (火) 弊社予想	200	7,000	7,200					7,200	TDB6M発行▲30,000 償還38,000
11/11 (水) 弊社予想	200	▲ 12,500	▲ 12,300	全店共通(変)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 20,300	30Y発行▲6,000
11/12 (木) 弊社予想	300	500	800					800	源泉税揚げ 社会保障費の払い 交付税特会借入▲12,000 償還11,000
11/13 (金) 弊社予想	▲ 200	▲ 20,000	▲ 20,200					▲ 20,200	5Y発行▲25,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、1.227%近辺での出合いが中心になると思われる。ターム物については、12月の利上げ折り込みの動向次第で、ロングターム物の出合いレートは上下に振れる可能性もある。債券レポ市場は、引き続き1.255%前後の推移を予想する。短国市場は、9日(月)に6M物、13日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では9日(月)に9月の消費活動指数、10月のコール市場残高、9月の景気動向指数速報、10日(火)に決定会合における主な意見、10月の貸出・預金動向、10月の景気ウォッチャー調査、11日(水)に10月のマネーストック、12日(木)に10月の企業物価指数、浅田審議委員挨拶(長崎懇談会)などが公表予定である。海外では10日(火)に10月の米消費者物価指数、12日(木)に7-9月期の英GDP速報値などが公表予定である。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入